

「英語×オンライン」の授業に備える：応用編

企画運営：名古屋大学高等教育研究センター《質保証を担う中核教職員能力開発拠点》



2021年10月14日(木) 13:00—16:30

スケジュールの詳細は裏面をご参照ください。

講師：吉中 昌國

株式会社アルク専属 グローバル人材開発コンサルタント



概要 本セミナーは、英語での授業をこれから担当する教員を対象に、英語でより効果的に授業を実施するための工夫を考えることを目的とし、下記内容を提供します。

- ・学生にとって聞きやすく分かりやすい発話スピードと文体について考える
- ・最初のセッションでその授業の重要性を学生に効果的に伝えるための練習を行う
- ・学生のレポートなどに対して、その長所と短所の両方を肯定的に伝える練習を行う
- ・留学生の不思議な言動の背後にある文化的規範や価値観について考える

本セミナーはZoomによるオンラインで開催します。オンライン参加が可能であることをご確認の上でお申し込みください。

オンライン参加の要件等

- ・カメラ・マイクが利用可能で、高速なインターネットに接続されたPC等が用意できること。
- ・発言等ができる静穏な環境で参加できること。

対象 1) 本学教員
2) 国内の他大学教員（若干名）

お申込み 下記ウェブサイトから、必要事項を入力の上、お申し込みください。
<https://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/form/211014/>

定員 15名（他大学教員枠は、うち5名程度を予定）
・応用編への参加は、基礎編に参加された方を優先します。
・参加希望者が多数の場合は、英語による授業経験年数や英語によるオンライン授業の担当予定を総合的に勘案して、参加者を選考します。

申込期限 9月24日（金）13時

※いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

お問合せ 名古屋大学高等教育研究センター info@cshe.nagoya-u.ac.jp

【スケジュール】

オリエンテーション

1. 英語の分かりやすい話し方

・効果的な発話スピードと文体とは？

学生にとって理解しやすい発話スピードを具体的に知り、そのスピードで話す練習を行います。また、学生にとって分かりやすい文体の特徴についても考えます。

2. 学生のやる気を高めるコツ

・フック（興味を引く仕掛け）
・授業の重要性を伝える

それぞれが自分の授業で行っているフックを共有し、互いの参考にします。さらに、授業の重要性を academic, professional, personal の3つの角度から話す練習を行います。

3. より効果的な授業のために

・肯定的なフィードバックを与える方法

学生のレポート、実験ノート、プレゼンテーションなどに対して効果的にフィードバックするためのコツを知り、ロープレで練習します。

4. 学生の多様性に対応するコツ

・文化の多層構造（文化の島モデル）
・留学生への対応（ミニ・ケース分析）

留学生は自分の文化の規範や価値観を持っています。そんな文化の違いに気づき、不要な誤解を賢明に避け、適切に対応するための工夫を、4つのミニ・ケースを通して考えます。（4つの文化は選択可能です。）

吉中 昌國

カリフォルニア大学バークレー校で社会学修士号取得。外国人講師のマネージャーを長年務め、企業でのグローバル人材開発コンサルタントとして活躍。

アメリカの大学についての豊富な知識と体験を基に、多くの国立大学でFD研修を担当。インストラクティブで丁寧な指導に定評がある。

